ふかや市議会だより

NO. 75　2024. 8. 1

水槽付消防ポンプ車
（寄居1号）配備

正副議長選挙
角田議長
福島副議長就任

全小学生に
ミストハンディファン

おめでとう！栄一、オー！！

議会もキメてます

保育士などの数
（3～4歳）20人に1人　→　15人に1人
（4歳～）　30人に1人　→　25人に1人

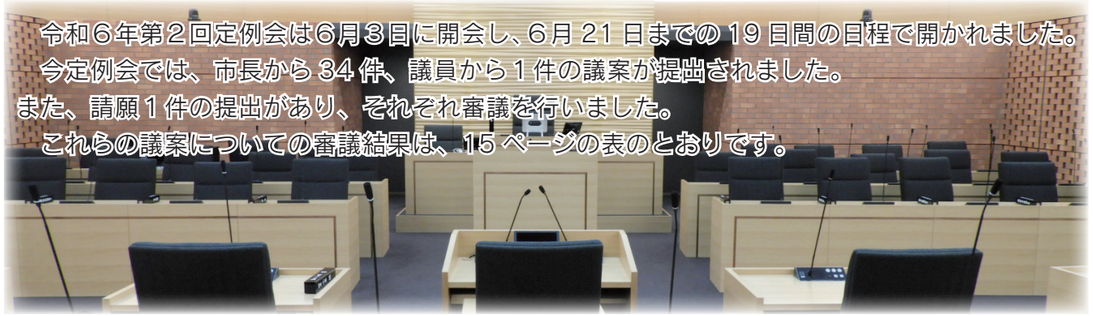
請願～議員提出議案
「パレスチナ自治区
ガザ地区
即時停戦を求
める意見書」

議案等36件が可決！

農業委員など
人事案件に同意

20議員が一般質問

税条例の一部を改正する条例や令和６年度補正予算など議案等36件を審議



令和６年第２回定例会は６月３日に開会し、６月 21 日までの 19 日間の日程で開かれました。
今定例会では、市長から 34 件、議員から１件の議案が提出されました。
また、請願１件の提出があり、それぞれ審議を行いました。
これらの議案についての審議結果は、15 ページの表のとおりです。

補正 令和６年度一般会計補正予算

第２号
小学校保健・安全教育推進事業において、熱中症対策のためのハンディファン購入費用３６５万８千円の追加です。

Q 当初予算ではなく補正予算とした経緯は。

A 令和６年度当初予算編成時から様々な商品を検討したが、どれも一長一短があり予算計上を見送った。継続的に効果的なものを探していたところ、ミストを併用し気化熱効果を得られるものが見つかったため、今後の酷暑を見据え、本補正予算に計上した。

Q 登下校中の使用であれば、一時的とはいえ片手が塞がり危険ではないか。

A 回転するプロペラが柔らかく怪我をしにくいもの、また、常に手を塞ぐことなく必要な時にすぐ手に取れる場所に携帯できるものを選んでいる。

反対討論 低学年の児童が適切に使えるのか、熱中症対策になるのかは疑問である。子どもの命を守るというのであれば、まず重すぎる荷物の軽量化に努めるべきと思うため、本議案に反対である。

佐久間　奈々

賛成討論 昨年の夏も異常気象と言われるほどの暑さだった。ランドセルの軽量化という問題もあるが、今回は子どもたちの熱中症対策、まさに命に関わる問題であるため、本議案に賛成である。

清水　健一

第３号
児童手当支給事業や幼稚園・こども館複合施設建設事業など、合わせて９億６２４万１千円の追加です。

Q 予防接種事業について、令和６年度から新型コロナワクチンの接種が定期接種化されるということだが、計上経費の内訳は。

A コロナワクチン接種予診票発送の通信運搬費をはじめ、保健業務委託料、接種券作成、封入封緘業務等を計上している。また、保健業務委託料の中にワクチン単価１万１，６００円が含まれている。

Q 対象人数は何人くらいを想定しているのか。また、発送時期と接種期間は。

A 深谷市に住所登録のある65歳以上の方、及び、60歳以上65歳未満の方で、特定の障害を有する方が対象となっており、４万２，８００人を見込んでいる。予診票の発送は、８月下旬頃を予定している。接種期間については、今年度の秋、冬を予定しているが、国から示される詳細に従い、行っていく。

Q 原郷上野台線整備事業について、全体の工事費が上がっているが、アプローチ部分の工事費に対しての補正か。

A アプローチ部分の工事費の変更である。一部汚水管切り回し工事において、ＪＲ高崎線下工事が終わらないと出来ない部分が残っており、その部分を含んでいる。

Q いじめ・不登校対策事業において、新たなアウトリーチ支援というのは、具体的にどういったものを考えてこの予算に至ったのか、その経緯は。

A 令和５年度にアプローチルームを設置。そこに学校総合支援員を配置し、不登校児童生徒の支援を行ってきた。当時、支援員が配置されなかった小学校３校においても登校渋り等が増加したため、令和６年度からその３校に配置する学校総合支援員の報酬等を計上した。

条例 税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例

令和６年度税制改正に伴い、令和６年度分の個人住民税において定額減税が実施される等の改正です。

Q 定額減税の概要は。

A 定額減税の額は、納税者本人とその配偶者を含む扶養親族１人あたり４万円（住民税１万円、所得税３万円）が減税される。住民税の定額減税の対象者は、前年の合計所得金額が１，８０５万円以下の所得割の納税義務者である。給与所得者等の給与天引きの方は、定額減税後の税額を11分割して令和６年７月から徴収する。事業所得者等普通徴収の方は第１期分（６月分）から、年金所得者の方は10月分の特別徴収税額から控除される。

所得税定額減税の対象者は、令和６年分所得税納税者である居住者で、令和６年分所得税に係る合計所得金額が１，８０５万円以下の方である。給与所得者は６月に支給される給与等から、年金受給者は６月分の年金支給分から減税される。事業主の方は基本的に確定申告時に控除される。

条例 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める市条例の一部を改正する条例

国の基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所Ａ型等における満３歳以上満４歳に満たない児童及び満４歳以上の児童の職員配置の基準を改定するため、条例改正するものです。

Q 小規模保育事業は０歳から２歳が対象の施設だと認識しているが、改正前を見ても４歳、５歳が対象になっている。いつ条例改正したのか。また、定員は19名で良いか。

A 平成27年からの子ども・子育て支援の新制度に伴い省令が定められ、市でも省令に従って条例を定めた。その当時からこの内容になっている。

また、小規模保育は２歳までとなっているが、定員に余裕があるなど、何らかの事情があれば３歳以上でも預かることが可能となっている。小規模保育のＡ型については、定員19人以下となっている。

請願の審議結果

▼請願第２号（採択）
パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める意見書の提出についての請願
島崎（しまざき）　笑夢（えむ）

賛成討論 ガザ地区が危機的な状況にある中、深谷市議会として政府に対し、イスラエルによる国際法違反のガザ攻撃の中止を求めるとともに、即時停戦に向けた外交努力を行うよう求める意見書の提出は、攻撃中止、即時停戦、休戦を求める世論を高めるものであり、この請願に賛成する。

鈴木　三男

※請願については敬称略

議会のうごき

4月

行事内容
24(水) 議員全員協議会 ・ネギーチャレンジを活用した健康づくり応援事業

5月

行事内容
27(月) 議会運営委員会 議員全員協議会 ・ネットワーク障害の発生と復旧 ・新１万円札×地域通貨ネギー第１弾

6月

行事内容
3(月) 開会、議案説明 6(木) 議案質疑 10(月) 福祉文教委員会

6月

行事内容
11(火) 産業建設委員会 12(水) 総務委員会 17(月) 一般質問 18(火) 一般質問 19(水) 一般質問 21(金) 議会運営委員会 採決、議会閉会 議員全員協議会 ・マイナンバーカードの利活用の促進に伴う公民館証明発行業務の停止 ・新１万円札×地域通貨ネギー第２弾 議会改革委員会

議長・副議長 就任あいさつ

6月3日議会初日、投票により議長・副議長が選出されました

議　長
角田　義徳

副議長
福島　秀樹

市民の皆様には、平素より深谷市議会に対しまして、ご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、令和6年深谷市議会第2回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、7月3日に渋沢栄一翁が肖像となった新一万円札が発行され、カウントダウンをはじめとした様々な記念イベントが盛大に開催されました。市議会といたしましても、栄一翁の顕彰に積極的に関与してまいりたいと思います。

また、議会運営に当たっては、開かれた議会を目指し、議決機関として市民の皆様の意見を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、市民の代表として市政運営の監視機関であることを十分認識し、職務に全力を傾注する所存でございます。

市民の皆様におかれましては、深谷市議会に関心をお寄せいただき、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

人事案件

■深谷市監査委員
茂木　一郎

■農業委員会委員
髙田　次郎
荻野　信義
柴崎　信幸
蛭川　一郎
福島　明
福地　伸夫
木村かつ江
小林　郁子
田村　恵司
新井美津子
安藤巳喜夫
持田　一吉
須藤　一男
須藤　浩一
大澤　正
矢神　勝彦
大須賀節子
栗田　宣雄
石川野理子
松嶋多喜男
加藤　延宏
大澤　慶三
富田千恵子
馬場　實

■福祉文教委員会
委員長　岡　仁
副委員長　坂本　博

■議会運営委員会
委員　富田　勝
委員　茂木　一郎

一部事務組合議会議員の選出

■埼玉県都市ボートレース企業団議会議員
角田　義徳

※人事案件は、敬称略

議会改革委員会を設置

6月21日、互選により委員長に今井慶一郎議員、副委員長に柿澤祐介議員を選出しました。

諮問事項
1　議員定数と議員報酬、その他待遇（厚生年金加入の是非や費用弁償）、政務活動費の使途基準見直しに関すること
2　常任委員会の生中継・録画配信、議会報告会の開催に関すること

永年勤続表彰

全国市議会議長会並びに埼玉県市議会議長会から表彰を受けました。

○勤続25年表彰　髙田博之議員
○勤続15年表彰　永田勝彦議員

Q&A

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧（通告順）

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

永田　勝彦……P5
・川本農産物直売所「道の駅かわもと」の拡張を望む

柿澤　祐介……P6
・消防行政
・食品衛生

清水　健一……P6
・誰一人取り残さない深谷市教育
・持続可能な都市経営

加藤　利江……P7
・県道花園本庄線バイパス榛沢新田工区の早期開通
・農振除外

湯本　哲昭……P7
・市立小中学校の児童生徒の視力の状況
・市内における、有機フッ素化合物（PFAS）の調査実態

山出　秀明……P8
・新一万円札発行前夜祭
・公共交通の今後の在り方

岡　仁……P8
・文化財保護
・高校生に対する就職支援

坂本　博……P9
・道路等の要望
・高齢者

五間　くみ子……P9
・公園の遊具
・ごみの減量化

繁　由香……P10
・防犯対策
・乳幼児健康診査
・学校環境

八須　由憲……P10
・3市連携利根川花火大会
・渋沢栄一翁の顕彰

田口　英夫……P11
・渋沢栄一顕彰事業
・障害者福祉

田島　秀興……P11
・一般廃棄物（家庭ごみ）
・自治会とごみ集積場

今井慶一郎……P12
・渋沢栄一を顕彰
・観光
・参観日

小泉　誠……P12
・財政情報の公開
・小中学校の給食費

村川　徳浩……P13
・自治会の加入率
・ホフマン輪窯

鈴木　三男……P13
・パートナーシップ制度
・桜並木の食害対策
・北通り線の安全対策
・高齢者のスポーツ支援

佐久間　奈々……P14
・防災対策

小林　真……P14
・田園風景と農業の未来
・ばらつきのある教育機会創造

髙田　博之……P15
・小学校児童数の減少対策

Q 川本農産物直売所「道の駅かわもと」の拡張を望む

永田　勝彦

映像はこちらから

Q 川本農産物直売所「道の駅かわもと」は、狭隘の売り場面積のため、農産物が重なり合って、購入の際、戸惑う様子を垣間見る。現施設の北側を買収し、建物の構築を進めることを望む。売り場面積が拡張されれば農産品の拡販が図れ、農業の担い手が現れる。また、遊休農地の解消にも繋がる。

A 施設は使用者が主体となり考えて頂くものと考える

A 現在、川本農産物直売所は「ふかや農業協同組合」が使用し、飲食テナントが入っている物産館は市が管理している。直売所の建替えを行い、売り場が広くなれば、それに伴うさまざまな効果も十分にあると考えているが、直売所の拡張等については、市内の他の直売所は土地も建物も農協で準備し運営しているものや、民間業者が自前で運営しているものもある。まずは農業者の支援をしている「ふかや農業協同組合」が主体となって考えて頂くことが基本と考えている。

また、農業の担い手の育成及び遊休農地解消はともに農業政策上の重要課題であると考えている。農業の担い手への支援としては、新規就農から3年間補助金を交付するとともに、県や市、農協、農業指導者によるサポートチームを組織し、技術指導や経営相談等各種支援等を行っている。また、遊休農地解消や拡大防止については、条件等あるが補助金等の支援も行っている。

今後も引き続き、農業の担い手を確保するとともに遊休農地の解消を図っていく。

〈『市政のここが聞きたい』の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。〉

Q メンテナンスや定期的なシステム改修予算について

A 合計6億3，166万円で整備し運用している

柿澤　祐介

映像は
こちらから

Q 消防指令センターの広域化（共同運用）について伺う。

A 整備費及び維持管理費の削減も期待できることから、将来の消防財政に与える効果が大きいと十分認識している。現在、当消防本部では県北部地域の消防本部へ共同運用の必要性を働きかけながら、共同運用に係る勉強会や意見交換会などを行っている。今後も引き続き効果的で効率的な共同運用の推進に努める。

Q 救急ビッグデータを用いた救急自動車最適運用システムの有効性について伺う。

A 現時点で研究段階であるので、有効性について引き続き情報収集に努める。

●食品衛生について

Q 細菌性食中毒のピーク時期を迎えるにあたり、市内小中学校での食中毒への予防対策状況は。

A ハサップの考えに基づいた「学校給食衛生管理基準」に従い、各学校では献立作成から児童生徒へ給食を提供するまでの工程において、食中毒を予防するための衛生管理の適切な実施に努めている。

Q 調理師や管理栄養士への定期的な衛生管理指導はしているのか伺う。

A 栄養教諭及び学校栄養職員に対して、市主催による外部講師を招いての研修会を実施するとともに、月1回の情報交換会を実施している。調理業務受託者の調理員に対しては、年3回の研修を事業者ごとに実施し都度報告を求めている。

高機能消防指令センター

Q 不登校児童生徒の状況は、どうなっているのか

A 令和5年度は、203名で増加傾向である

清水　健一

映像は
こちらから

Q 不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する「学びの多様化学校」の設置について考えを聞きたい。

A 国県の動向を注視しつつ、先進地の学校の情報入手に努め、不登校児童生徒に対して、どのような形での支援ができるか等、研究していく。

Q 全国学力・学習状況調査の結果について聞きたい。

A 令和5年度は、小学生・中学生共に県平均を下回る結果となった。

Q 1年間に教科書を何度も繰り返し使う、ラウンドシステムという授業スタイルを取り入れ素晴らしい成果を上げている学校があるが、取り組む考えについて伺う。

A 全教科にてラウンドシステムの様な反復練習は必要と考えている。

●持続可能な都市経営について

Q 人口減少が進み、行政施設や生活関連施設の維持が困難になる事が予想される中、概ね20年後の街の姿を展望する計画として5年前に立地適正化計画が策定されたが、調査、分析及び評価を行わないのか伺う。

A 調査、分析及び評価を実施する。

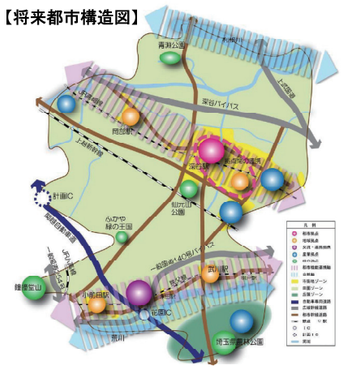
Q 評価の結果、改定の必要がある場合には改定するのか聞きたい。

A 見直しを行う必要がある場合、改定と共に防災指針を定めていく。

Q 都市計画マスタープランも改定を行わないのか伺う。

A 取組について計画との乖離が生じた場合、見直しを検討する。

【将来都市構造図】



Q 花園本庄線バイパス榛沢新田工区の早期開通を願う

A 深谷市全体の願いとして、県に早期開通を要望する

加藤　利江

映像は
こちらから

Q バイパス整備がかなり進んできているが、現在の進ちょくは具体的にどの様な状況か。

A 深谷市内はコスモス街道の藤治川に架かる原野橋から本庄市境の1・6㎞区間であり、榛の森公園橋を含む400m区間が開通している。現在、用地買収は残り1件で、用地買収率は92％となっており、令和元年12月議会当時から変わっていない状況である。工事は今年度に未買収地となっている230mを除き、全区間で工事がほぼ完了する予定である。

Q 事業開始から10年以上経過しており、早期開通を県に強く申し入れるべき。

A このバイパス整備は深谷市全体として待望の道路であり、県に早期開通を強く要望するとともに、市としても全面的に協力していく。

花園本庄線

Q 深谷市立小中学校、児童生徒の視力の状況は

A 低学年から高学年になるに従い視力は低下傾向にある

湯本　哲昭

映像は
こちらから

Q 視力低下の原因について、考えられる事はあるか。

A 令和元年度から令和5年度までの調査結果でも、各学年とも年度の推移に合わせ低下傾向にあり、国の傾向と同じ結果である。考えられる理由として、外遊びの減少、社会構造やライフスタイルの変化等の社会規模の影響によるものと捉えている。

Q GIGAスクール構想におけるタブレット使用による視力低下の影響は。

A 令和2年10月から使用開始をしたが、新型コロナ感染症下で学校運営がままならない状況のなか、オンライン授業等の学びを保証するためのタブレットの活用などで対応をしてきたが、視力の低下傾向はあるものの、タブレットだけのものではないと考えられる。

Q 今後の視力低下の対策は。

A スクリーンタイムを減らし、長時間の目の酷使をさせない、目の休息時間を増やす指導を、家庭と一緒に進めていく。

●市内の有機フッ素化合物の実態は

Q 東芝深谷工場跡地の調査結果は。

A フッ素及びその化合物は基準値を超えて検出されたが有機フッ素化合物は使用しなかったため、調査は行われていない。

Q 水道水における検査状況は。

A 令和2年度から給水栓、浄配水場及び水源数か所の浄水処理が行われる前の原水も年一回の水質検査を実施し安全を確認している。

Q 「くるリン」の運行区域を隣接地域に拡張できないか

A 他の運行業者等への影響を考慮する必要がある

山出（やまで）　秀明（ひであき）

映像はこちらから

Q コミュニティバス「くるリン」定時定路線の今後の運行区域について、隣接する地域に拡張できないか。

A 隣接する自治体との広域的な連携を図り、運行区域を拡張することは相互住民の利便性向上の観点から大変重要なものと考える。しかしながら、広域的な公共交通の維持確保の観点より、他の運行業者等への影響を考慮する必要があることから、現時点では実現は難しいものと認識している。今後、隣接する自治体や民間バス事業者との連携を図りながら、調査、研究を重ねていく。

●新一万円札発行前夜祭について

Q 「新一万円札発行前夜祭」カウントダウンセレモニーにおいて、0時に合わせて花火を打ち上げる可能性はあるのか。

A 当初、建物内と建物外の両方で行うことを想定していたが雨天の心配のない建物内で行うこととしたため、打ち上げることは考えていない。

Q 新札発行は千載一遇のチャンス。7月3日午前9時に号砲の花火を打ち上げてはいかがか。

A 打ち上げるには安全を確保するための建物がなく最低でも半径40mを確保する必要がある。午前9時は授業中などであることから打ち上げは困難であると思われる。号砲花火の打ち上げは多くの市民に新札発行を知らせ発行当日の祝賀ムードを演出するための有効な手段と考え、場所と時間を含め前向きに考えていきたい。

Q 市として文化財の管理・保護について何をしているか

A 各文化財を保持している団体が管理をしている

岡（おか）　仁（ひとし）

映像はこちらから

Q 指定している文化財はどのくらいあるのか。

A 無形文化財は県指定1件、市指定25件、有形文化財は国指定3件、県指定10件、市指定158件ある。

Q 無形文化財の所有者等に対する補助制度は。

A 後継者育成に必要な経費に対し、県指定は保存事業費から県補助金を差し引いた残額の2分の1以内、上限8万円を補助し、市指定は、補助事業の2分の1以内上限6万円を無形文化財の保持団体に補助している。

Q 後継者育成をするための必要経費とは何か。

A 練習や本番で使用する道具の購入や修理、衣装のクリーニング、指導テキストの印刷等費用である。

●高校生に対し就職支援をどのようにしているか

Q 高校生に対し、市としてどのような就職支援をしているのか。

A 埼玉県北部地域合同企業説明会を実施している。本年度は146の企業（ブース）と、660人の高校生たちが参加した。

Q 市として子供たち、若者たちに対しどのような職業体験を行っているか。

A 市内中学校2年生で、令和5年度はのべ約300事業所において、3日間の職場体験学習を行っている。

Q 各自治会からの道路等の要望における本市の対応は

A 多くのご要望に応えてまいりたいと考えている

坂本（さかもと）　博（ひろし）

映像はこちらから

Q 道路関係、街灯、カーブミラーの要望について、過去3年間のそれぞれの総件数は。

A 道路拡幅や側溝、舗装などの道路整備に関する要望は、117件、道路照明灯設置要望は、210件、道路反射鏡設置要望は、93件となっている。

Q 未処理の件数について、今後の対応は。

A 各要綱や設置及び管理基準に基づき、整備や設置の必要性及び効果を評価しながら、地域バランスにも配慮しつつ、少しでも多くのご要望に応えてまいりたいと考えている。

●身寄りのない高齢者について

Q 高齢者のみの世帯数と、その内、単身高齢者世帯数は。

A 65歳以上の高齢者のみの世帯数は18，573世帯、その内、単身高齢者世帯数は10，327世帯である。

Q 今後、身寄りのない高齢者の増加が考えられるが本市の対応は。

A 地域に暮らす誰もが尊厳のある生活を維持し、安心して歳を重ねることが出来る社会を作っていくことが重要と考えている。そうしたことから、終活セミナーや深谷寄居医師会と共催で、ACP普及啓発教室を実施している。

◆各自治会からの要望件数に対しての未処理の件数
※合併後の平成19年度から令和5年度末までの過去17年間

	要望件数	未処理件数
道路整備	1,274	564
道路照明灯	1,005	184
道路反射鏡	644	131

Q 公園遊具について、市全体の整備計画で行っては

A 市民ニーズを把握し、公園全体の中で検討

五間（ごま）　くみ子（こ）

映像はこちらから

Q 児童遊具の設置数は。

A 公園緑地課の管理している公園は118か所で332基である。

Q 更新のタイミングは。

A 公園遊具は、毎年安全点検を行い、自治会との協議により更新。

Q 健康遊具の設置数は。

A 榛の森公園を中心に23基。

Q インクルーシブ遊具は未設置とのことだが、今後の設置も含め、時代の変化を考慮し、児童遊具・健康遊具とともに、公園遊具の整備計画を立てて更新・設置していくべきと思うが市の考えは。

A 子育てに力を入れている深谷市である。児童遊具をはじめ、公園全体のあり方の中で、検討していく。

●さらにごみの減量化を図るには

Q 集団回収の登録団体は。

A 登録団体277団体。

Q そのうち布類の回収団体は。

A 24団体。

Q 定着していない布類の資源回収を促進させるため、奨励金の上乗せを図っては。

A 今後検討していきたい。

Q 生ごみ処理機の購入補助金、県内の状況は。

A 63団体中、38団体で導入。

Q 平成23年に廃止した当時とは、市民の意識に変化があると思う。再考をしていく考えは。

A 再度の制度化については、他自治体の実施状況、費用対効果等含め、調査研究していく。

健康遊具（内出公園内に設置）

Q 個人宅を狙う犯罪に対し、市が行っている注意喚起は

A 防犯パトロールや青パトを活用し見守りを行っている

繋 由香（つなぎ ゆか）

映像はこちらから

Q 「防犯のまちづくり支援」として、今後、個人宅の防犯備品の購入に対し補助の考えはあるか。

A 近隣の市でも個人向けの設置補助を行っているが、制度が始まったばかりで、補助額や件数にバラつきがある事から、今後補助については、本市に合った形を調査研究していく。

●乳幼児健康診査について

Q 10ヶ月の乳児に対し、健康診査や健康相談の導入の考えはないか。

A お子さんについての心配事、不安事などを、月齢にこだわらず相談できる「乳幼児健康相談」を、毎月市内4か所で実施している。また、「乳幼児健康相談」は昨年度まで予約制にしていたが、予約制を廃止した。現在、10ヶ月の乳児の健康診査や相談の導入は考えていないが、今後は来所の目安として、4ヶ月児健康診査の際に案内を渡すとともに、10ヶ月頃の来所を促すなど「乳幼児健康相談」の周知を強化していく。

●学校環境について

Q 体育やプールの授業を行う際の、子どもたちの着替える環境について。

A 児童生徒の成長を考慮しながら、各校の実態に応じて、男女別の着替えの場を確保していく。着替えの在り方について、児童生徒や保護者から相談等があった場合は、個別に適切な配慮を実施するよう、各学校を指導していく。

Q 「3市連携利根川花火大会」に向けた市の対応は

A 伊勢崎市、本庄市と連携を図り詳細を決めていく

八須 由憲（はちす よしのり）

映像はこちらから

Q 多くの人出が予想され大渋滞、路上駐車や迷惑駐車が起きる。交通規制や駐車場対策はどのように考えているのか。

A 深谷市内で駐車場の設置は考えていない。交通規制をかける箇所は渋滞を防ぐために上武大橋周辺のみである。渋滞や路上駐車、迷惑駐車等の対策は、ホームページや広報、チラシなどで早めに周知をしていく。

Q 農道への車両進入防止や緊急車両の通行についての対策は。

A 農道全体について交通規制をかける予定はない。緊急時に救急車や消防車両等が通行できるよう必要な場所に警備を配置する。

Q 車両や人の進入による農作物の破損やトラブル、ゴミの散乱等による苦情相談窓口の設置は。

A 当日の相談窓口は大会本部で、翌日以降は深谷市商工振興課で対応する。

●渋沢栄一翁を知ってもらうために

Q 本市では「渋沢栄一 翁こころざし読本」を市内全小・中学生に配布し、道徳や社会科の授業を中心に活用している。新札発行等の掲載記事が古いため改訂が必要ではないか。

A 新札発行を機に、一部改訂する方向で進めていく。

Q 多くの方に読んでもらう取組は。

A 「渋沢栄一 翁こころざし読本」は八基公民館において設置し、販売している。その他の関連施設への設置についても検討していく。

Q 渋沢栄一顕彰事業を今後どのように考えていくか

A 「栄一翁イコール深谷」のイメージを強固にしていく

田口 英夫（たぐち ひでお）

映像はこちらから

Q 新一万円札発行記念イベントは評価するが、さらに1年後、2年後の機運の盛り上げも重要ではないか。

A これまでも栄一翁の顕彰を進めてきたが、今後はさらに、ゆかりのある企業や団体との事業連携の強化を図っていき「栄一翁イコール深谷市」のイメージを強固にしていく。

Q どのような事業連携を図るのか。

A 関わった企業や自治体は全国に多数あり、そういったところとのネットワークの広がりを持っていく。

●障害者虐待への対応について

Q 虐待通報があった時の対応は。

A 内容を検討し、緊急的な介入の必要性を判断し、保護を最優先する。その上で、事実関係の確認を行い、総合的に虐待の有無を判断する。

Q グループホーム等の事業者は、虐待防止研修を行っているか。

A 事業者は、国の基準に基づいて、定期的に研修を行うことが義務付けられている。

Q 「ちゃん」づけで呼ぶことも虐待になると聞いたが。

A 本人の意に反して子ども扱いする呼称で呼ぶことは虐待だが、本人等が同意していれば一概に虐待とは判断できないケースもある。

Q 知的障害を持つ方への虐待は判断が難しい場合もあると思うが。

A 言葉による説明や訴えが難しい場合もあり、調査を慎重に行い判断することが必要と考える。今後も、障害者の尊厳や自立が害されることがないように適切に対応していく。

Q 自治会が維持管理するごみ集積所の所有権・裁量権は

A 所有権・裁量権共に自治会にあるものと認識している

田島 秀興（たじま ひでおき）

映像はこちらから

Q 生活の多様化・高齢化など様々な個人の事情を鑑みて、ごみ出し時間は長い方が良い。鳥獣等に荒らされないような設備であれば、自治会の裁量でごみ出し時間を仮に前日の夕方からとしても問題はないか。

A 自治会の裁量権の範囲内で、各自治会においてご判断いただければと考えている。

Q 根拠法より、行政と市民が相互に負う責任や義務について伺う。

A 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づくほか、深谷市廃棄物の処理及び再利用に関する条例第3条において、「市は廃棄物の適正な処理を図る責務を有する」と規定されており、また、条例第4条において「市民は分別や排出の方法等について市長が指定する方法により処理するとともに、相互に協力し、ごみ収集所を清潔に保たなければならない」と規定されている。

Q 所有権・裁量権共に自治会にあるものと認識しているが、地域によってごみ出し環境に差が生じている。集積所の維持管理が各自治会の裁量であることが要因である。基準や要綱を細かく定め、各自治会が集積所について考えやすいよう情報提供をしたほうが良いと思うが、本市の考えを伺う。

A 各自治会において様々な事情があり、市において細かに定めることは難しいところであり、まずは現行の設置基準に基づき、設置をしていただきたい。集積所の運用に関し、市民の皆様にとって利用しやすいものとなるよう努めていく。

Q 保護者が時間に焦らず参観を出来る工夫をしてほしい

A 実施内容等を工夫するよう各園・学校を指導していく

今井（いまい） 慶一郎（けいいちろう）

映像はこちらから

Q 学校の先生方には最大限の敬意を表する。その上で、例えば、一人の保護者が二人の我が子の授業風景を、時間に焦ることなく観たり参加できるように工夫を凝らしてほしい。

A 参観日が重ならないよう調整したり、見どころとなる参観内容を学級通信等で保護者に伝えて授業公開に取り組んだり、また、参加が難しい保護者や感染症予防対策として授業をオンライン配信する等、各学校区や学年で色々試みている。教育委員会としては、これからも地域の行事等を考慮した上で、誰一人とり残さない授業参観を行なえるよう、校長会等を通じて指導していく。

●「煮ぼうとう」を世間に広めたい

Q 渋沢栄一の顕彰事業として「モノ」も世間に広めていきたい。例えば、渋沢栄一が子どもの頃から好んで食べていた「煮ぼうとう」を本市の食文化として末長く世間に継承していくことが、賢明な町おこしにも繋がると考えるが。

A 一昨年には武州煮ぼうとう研究会の推薦により、文化庁の「伝統の100年フード」にも認定された「煮ぼうとう」。今後は、関係各位と連携して推進し、市内外への広がりに繋がるよう努めていく。

文化庁：伝統の100年フードに認定の煮ぼうとう

Q 給食費の予算不足についての深谷市の施策は

A 安定的な給食提供のため補助金の増額を含め検討する

小泉（こいずみ） 誠（まこと）

映像はこちらから

Q 給食費の予算不足は早急の解決が必要だが、深谷市としてどんな施策を考えているか。

A 深谷市の学校給食の保護者負担の給食費の額は月額、小学校４，１００円、中学校４，９００円となっている。市は、保護者負担をできるだけ軽減できるよう、令和４年10月から、小学校４００円・中学校５００円の学校給食費の補助を実施している。献立や食材購入など工夫しているが、食材価格の値上げが今後も予想されるなか、安定的に給食を提供するための早急な対策が必要であると認識している。物価高による家庭への影響を勘案しながら、補助金の増額を含め検討する。

●予算編成過程を公開できないか

Q 市民の財政に関する関心と理解を深め、透明性の高い財政運営を行うために、予算編成方針の策定から最終的な予算案までの確定を時系列で議会前に公開することはできないか。

A 予算編成方針は、市長がその方向性を定める内部的な意味合いの強いものであるが、本年度より議案と併せて公表するよう、見直した。予算編成過程の公表は、一部の自治体での取組であり、近隣自治体においても、未だに行われていないことから、現時点では、予算編成過程を公表する考えはない。

Q 事業費24億3千万円を減らす努力をすべきでは

A 可能な限り一般競争入札を行い経費の節減に努める

村川（ミルク） 徳浩（おやじ）

映像はこちらから

Q ホフマン輪窯６号窯の耐震補強工事は、設計金額８億１１３万円で請負金額はその99・98％の８億１０２万円だった。業者選定は、随意契約ではなく、原則通り入札を行って決定すべきだったのではないか。

A 実績のある別業者が受注した場合、仮設覆屋などのリース物件の撤去・再設置が必要になり事業費の増額となる。複数の業者になると瑕疵担保責任の所在が不明確になる事も考慮し、競争入札に付することが不利と認められるので随意契約とした。

Q 関連工事を含む総事業費24億３千万円は、更に増額になるとのことだが、少しでも事業費を減らすための努力をすべきではないか。

A 分割できる工事については一般競争入札を行ってきた。今後も可能な限り入札を行い経費の節減に努める。

ホフマン輪窯６号窯

Q 上唐沢川の桜が枯れているが対策をとっているのか

A 他の河川の桜も同じ状況なので監視体制を強化した

鈴木（すずき） 三男（みつお）

映像はこちらから

Q 上唐沢川沿いの桜並木がクビアカツヤカミキリの被害により枯れ始めている。市はその対策を考えているのか。

A 上唐沢川の桜には、クビアカツヤカミキリが原因の「フラス」が多数確認されている。他の河川の桜も同様であるので、造園業者による毎月の巡回を追加し監視体制を強めている。枯損木は例年発生しているが、老木による樹勢の衰退によるもので、クビアカツヤカミキリが直接的原因の枯損木は確認されていない。

Q すでに枯れている木が多くみられるが、撤去の予定はあるのか。

A 枯損木が確認され次第順次、剪定や伐採撤去をしている。

Q 撤去後に食害に強い桜の苗木を植える考えはあるのか。

A 桜は、地域のシンボルとして憩いの場や花見スポットとして親しまれているが、河川の管理上堤防への悪影響の懸念もあるので、新たな植樹の予定はない。

●北通り線の5差路に信号機を

Q 北通り線が開通してから、５年が経過し交通量が大幅に増加している。この北通り線を安全に横断して交差点北側の店舗で買い物ができるようにするために、信号機と横断歩道の設置を強く望んでいるがどうか。

A 信号機や横断歩道の設置は警察の所管であるため、改めて警察署へ要望してほしい。市としても、地元が強く希望していることを再度深谷警察署に伝えた。

6/20　枯損木の撤去

Q 自治会の加入促進のために地域通貨ネギーを活用してはどうか。

A ネギーの活用を含め、自治会連合会と連携して研究していく。

●自治会加入促進にネギーの活用を

Q 低下する自治会の加入率を上げるためには、自治会の負担を減らし、加入によるメリットを増やすという考え方も有る。ゴミの集積場の管理・清掃を市が行う考えはあるか。

A 市内に３，２３８ヶ所あるゴミ集積場を市が管理した場合、費用対効果の面で集約が必要となる。地元自治会等が管理運営する事により、地域の実情に応じた運用が可能となり、地域住民の利便性に繋がると考える。

Q 避難所のトイレはスフィア基準を満たせるか

A 避難所施設のトイレの数は基準を満たしている

佐久間（さくま）奈々（なな）

映像はこちらから

Q 避難所のプライバシーの確保はどのようにされるのか伺う。

A 備蓄しているパーテーション等を活用し、プライバシーの確保に努める。形状は、正方形で縦横2．1m、高さ1．8mであり、利用可能人数は概ね大人2名、子ども1名である。備蓄数は千個であるが、県等や企業と災害協定を結んでおり、災害時には協力を頂ける関係を構築している。

Q 過去の災害では、トイレ環境が劣悪であり、感染症やエコノミー症候群を引き起こすなど、災害関連死の原因になっていた。スフィア基準（災害等の被災者に対する国際的な最低基準）では、災害初期段階で50人にトイレ1基とされているが、市では対応可能か伺う。

A 市の避難所の収容人数に対してトイレの合計数をみると、1基あたり30人であり基準を満たしている。

Q 研究者によると、災害後の水洗トイレは使えない事を前提に備えるべきとの提言がある。発災後に即必要となる携帯トイレや簡易トイレの備蓄は十分なのか伺う。

A 携帯トイレが3万7千枚、簡易トイレは131基の備蓄があるが、十分ではないと認識している。今後管理計画等、きちんと定めていく。

Q 風雨災害時のペット受け入れ可能施設数と受け入れ可能頭数を伺う。

A 使用可能な施設は34か所で、避難者とは別スペースの受け入れが基本である。

Q そのペットスペースは屋内か。

A 屋外である。

深谷市で備蓄されているパーテーション

Q 不登校支援での民間施設・機関との連携は

A 懇談会、教委による民間施設の訪問などで相互に連携

小林（こばやし）　真（まこと）

映像はこちらから

Q 不登校に苦しんだ人たちを中心に始まった支援は、内容が多様化しつつ増えている。協働先、助っ人として活用する方策は。

A 不登校の子供の心理的状況は日々変化している。学校は様々な課題を抱えているが、何かあった時、子供が持つロープの先をしっかりと握って離さないでいたい。民間の支援者とも縦横に連携しながら進めたい。

Q 教育は社会に偏在する。まちづくりに教育を絡めることは。

A 民間を含め、子供たちの支援者が色々と努力をしていただいている。引き続き、私たちの経験を生かしながら、一人でも多くの子供が笑顔になれるような学校にしていきたい。

●「地域計画」を機能させるために

Q 地域計画策定スケジュールは。

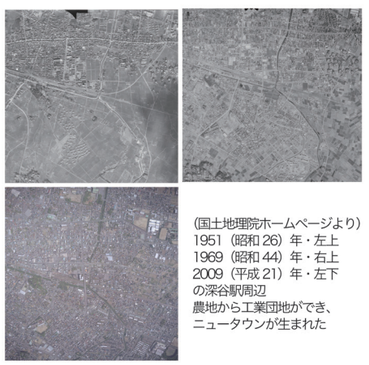
A 25地区で7月から12月をめどに、協議の場での話し合いを2回ずつ開催。3月までに結果を公表し、縦覧を経て策定して公告する。

Q 協議の場は農業に関心があれば誰でも参加できるか。また、オンラインでの開催は考えているか。

A 農業関係者のほか農業に興味のある方も参加できる。オンラインでの開催は考えていない。

Q 後継者不足はじめ農業の諸問題、流通、消費など多角的な取組が必要。食と農、市独自の取組は。

A 農産物のブランド推進、アグリテックや、交流施設「アグリコ」などを活用。



（国土地理院ホームページより）
1951（昭和26）年・左上
1969（昭和44）年・右上
2009（平成21）年・左下
の深谷駅周辺
農地から工業団地ができ、ニュータウンが生まれた

Q 小学校児童数の減少対策をききたい

A 現在のところ適正規模・配置の策定には至っていない

髙田（たかだ）　博之（ひろゆき）

映像はこちらから

Q 近隣市・町の現状が知りたい。

A 近隣の自治体でも学校の再編が行なわれている。熊谷市、行田市では一部の小学校を統合し、新校を設置している。

本庄市、美里町では適正規模適正配置方針を策定し、住民説明会を開催し、再編に向けた取組を実施している。熊谷市、本庄市、寄居町では、一部の学校で複式学級を編制している。

Q 複式学級とは。

A 2つの学年を1つの学級に編制することで、一年生を含む時は2つの学年で合計8人まで、それ以外は2つの学年で合計16人までと定められている。

授業では、一方の学年を教員が指導している時は、片方の学年は自主的な学習を進めたり、類似内容を扱うことで2つの学年が協力しながら学習する。深谷市では当面の間は複式学級を必要とする小学校はない。

Q 市内で一番児童の少ない大寄小学校では常に統合とかの噂がでるが。

A 令和5年度の学校運営協議会で地域の現状や望ましい学校のあり方に関する意見をいただき、状況の把握に努めているが、方針の策定には至っていない。

今後、小・中学校の適正規模・配置の方針の決定にあたっては、市内の出生者、住民基本台帳の人数等を注視しながら、策定時期を見極め検討していく。

大寄小学校

〈ふかや市議会だよりは、CD版を発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL573-6563）へご連絡ください。〉

議案等の審議結果

6月定例会に提出された議案と審議結果は次のとおりです。

◆市長提案

報告番号	件名	審議結果
第1号	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険税条例の一部改正）	承認
第2号	専決処分の承認を求めることについて（税条例及び都市計画税条例の一部改正）	承認
第3号	専決処分の承認を求めることについて（個人番号の利用に関する条例の一部改正）	承認

議案番号	件名	審議結果
第31号	深谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
第32号	財産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車）	可決

◆議員提案

議案番号	件名	審議結果
第3号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める意見書	可決

議案番号	件名	審議結果
第33号	財産の取得について（高規格救急自動車）	可決
第34号	令和6年度深谷市一般会計補正予算（第2号）	可決
第35号	令和6年度深谷市一般会計補正予算（第3号）	可決
第36号	令和6年度深谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
第37号	深谷市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
第38号～第61号	深谷市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意

◆請願

請願番号	件名	審議結果
第2号	パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める意見書の提出についての請願	採択

全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧

【○：賛成、×：反対】

会派名	深谷同志会												深和会		公明党			日本共産党		元氣会		小林ミルク		無所属	
議員名 / 議案等	田島秀興	岡仁	柿澤祐介	福島秀樹	今井慶一郎	湯本哲昭	八須由憲	清水健一	田口英夫	角田義徳	富田勝	茂木一郎	永田勝彦	髙田博之	坂本博	繁由香	五間くみ子	佐久間奈々	鈴木三男	山出秀明	加藤利江	小林真	村川徳浩	小泉誠	審議結果
令和6年度深谷市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長（※）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	可決
パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める意見書の提出についての請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は可否同数のみ採決に参加します。

令和５年度　政務活動費収支報告

政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、交付されるものです。
市政に関する調査研究、その他議会活動を共同して行うことを目的として、議長に結成を届け出た会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して交付されます。支給額は、議員1人あたり、年額300,000円（月額25,000円）です。
※令和5年4月に改選があったため、人数、交付額等に変更があります。

単位（円）

会派名（人数）		深谷同志会（12人）※令和5年5月から	深和会（3人）※令和5年4月まで	深和会（2人）※令和5年5月から	公明党（3人）※令和5年5月から	日本共産党（2人）※令和5年5月から	小林ミルク（2人）令和5年5月から	元氣会（2人）令和5年5月から	村川　徳浩 ※令和5年4月まで	小泉　誠 ※令和5年5月から
交付額（A）		3,300,000	75,000	550,000	825,000	550,000	550,000	550,000	25,000	275,000
支出額（B）		3,300,000	75,000	175,917	556,222	495,101	550,000	150,226	25,000	275,000
支出内訳	調査研究費等	2,887,303		116,087	131,209			115,226		9,150
	研修費				45,665					34,000
	広報費	392,127			203,651	495,101	550,000		25,000	228,550
	広聴費									
	資料作成費									
	資料購入費	20,570		28,028	36,276			35,000		3,300
	事務費		75,000	31,802	139,421					
差引額（A−B）（市への返還額）		0	0	374,083	268,778	54,899	0	399,774	0	0

※令和5年4月分～令和6年3月分の12か月分を交付していますが、深和会の人数は、令和5年4月までが3人、令和5年5月より2人となっています。
村川議員は令和5年4月までが一人会派で、4月に政務活動費を一か月分交付しています。

支出項目の内容について

項　目	内　容	主な例
調査研究費等	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費や調査研究その他の活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費です。	資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、旅費、宿泊費、車借上料、ガソリン代等
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費です。	講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、参加費等
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費です。	広報紙・報告書等印刷費、会場費等
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取（アンケート）、住民相談等の活動に要する経費です。	資料印刷費、会場費、文書通信費、交通費等
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料作成に要する経費です。	印刷製本費、翻訳料、事務機器購入費、リース料、コピー代等
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費です。	書籍購入費等
事務費	会派が行う活動に係る必要な備品、文具、消耗品等購入、通信等に要する経費です。	備品購入費、文具代、事務機器購入費、コピー代等

なお、詳細は深谷市ホームページをご覧ください。
深谷市議会 政務活動費　検索

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1	2 (開会)議案説明 決算特別委員会	3 議案説明	4	5 議案質疑	6 議案質疑	7
8	9 産業建設委員会	10 総務委員会	11 福祉文教委員会	12 決算特別委員会	13 決算特別委員会	14
15	16	17 決算特別委員会	18	19 一般質問	20 一般質問	21
22	23	24 一般質問	25	26 採決（閉会）	27	28

ふかや発見

今号の表紙

新一万円札発行記念「くす玉開き大作戦」に議会も参加。八基オリジナル「栄一翁締め」颯爽たる動画もぜひご覧ください。お祝いムード全開でも、議事はバラエティ豊か。みなさんチェックよろしくお願いします。

編集後記

7月3日に新紙幣が発行されました。渋沢栄一翁肖像の一万円札はもう手にされましたか。新札発行で盛り上がっている一方で、能登半島地震から約半年。復興はまだまだです。渋沢栄一翁が言うみんなが幸せに過ごせる社会になるといいですね。

また、深谷市議会においても茂木一郎議長、今井慶一郎副議長に代わり、新しく議長に角田義徳議員、副議長に福島秀樹議員が就任しました。令和6年第2回定例会では一般質問20名が行いました。

この議会だよりをご一読いただけたら幸いです。　山出　秀明

編集委員会

［編集責任者］　議長　角田　義徳
［委員長］田口　英夫　［副委員長］佐久間　奈々
［委　員］田島　秀興　福島　秀樹　八須　由憲
小林　真　山出　秀明　繋　由香

議会の生中継・録画配信
http://fukaya.gijiroku.com

発行／深谷市議会　編集／ふかや市議会だより編集委員会　〒366-8501　埼玉県深谷市仲町11番1号　深谷市議会事務局